

問1 アメリカ合衆国の農業地域に関する記述のうち、各地の統計データや地理的特徴を説明したものととして、正しい組み合わせはどれですか。（2017年 三重公立入試 類似）

- |   |                                       |                                      |                                  |
|---|---------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 中西部のイリノイ州付近を中心とした、肥沃な土壌を活かしたとうもろこし栽培 | 2. 乾燥した北部のグレートプレーンズを中心とした、広大な農地での綿花栽培 | 3. 温暖なミシシッピ川下流域の低湿地を中心とした、機械化による小麦栽培 | 4. 冷涼な五大湖周辺の気候を活かした、大規模なとうもろこし栽培 |
|---|---------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|

問2 アメリカ合衆国の経済や社会指標の特徴について、広大な国土や豊富な資源との関連から説明したものととして最も適切なものはどれですか。（2017年 和歌山公立入試 類似）

- |   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| 1. 広大な面積と豊富な人口を背景に、世界最大の国内総生産（GDP）を維持しており、エネルギー資源である原油の産出量も非常に多い。 | 2. 世界最大の面積を背景に、農業と原油産出に特化しており、国内総生産（GDP）に占める工業の割合は極めて低い。 | 3. 人口は世界第1位であり、その膨大な労働力を活用することで、原油産出量と国内総生産（GDP）を急速に拡大させている。 | 4. 国内総生産（GDP）は世界最大規模であるが、国内にエネルギー資源が乏しいため、原油の産出量は微々たるものにとどまっている。 |
|---|--|--|--|

問3 北アメリカ大陸の北部に位置する広大な国家において、その歴史的背景や社会的な特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2026年 新潟公立入試 類似）

- |                                       |  |                                   |  |
|---------------------------------------|--|-----------------------------------|--|
| 1. 英語とフランス語の双方を公用語として認め、多文化主義を尊重している。 | 2. コーヒー豆の栽培を中心とした大規模なプランテーション農業が盛んである。 | 3. 先住民であるマオリの文化を尊重し、独自の伝統が守られている。 | 4. パンパと呼ばれる広大な草原を活用し、牛などの牧畜が盛んに行われている。 |
|---------------------------------------|--|-----------------------------------|--|

問4 アメリカ合衆国が、G7（主要7か国）の中でも突出した経済規模を持ち、世界最大の国内総生産（GDP）を維持している要因として、その地理的・社会的特徴をふまえて説明したものととして適切なものを次から選びなさい。（2024年 広島公立入試 類似）

- |   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| 1. 移民の受け入れなどにより人口が増加傾向にあり、広大な国土と資源を背景に、巨大な国内消費市場と産業基盤を形成しているため。 | 2. G7の中で最も国土面積が狭い分、都市部に高度な情報通信技術が集中し、効率的な工業生産を特化させているため。 | 3. 19世紀以降、北アメリカ大陸のすべての国家を統合したことで、他国との貿易を一切必要としない自給自足の体制を確立したため。 | 4. 人口密度が世界で最も高く、限られた土地を有効活用するために高層ビルでの垂直的な農業を国の主力産業としているため。 |
|---|--|---|---|

問5 世界の農産物生産量において、大豆の32.5%、とうもろこしの35.2%という極めて高い世界シェアを占める一方、小麦のシェアは10.6%にとどまり、カカオ豆の生産がほとんど行われていない地域はどこですか。（2026年 福岡公立入試 類似）

- |           |           |           |          |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 北アメリカ州 | 2. 南アメリカ州 | 3. ヨーロッパ州 | 4. 東南アジア |
|-----------|-----------|-----------|----------|

問6 北アメリカ大陸に位置するアメリカ合衆国において、イギリスの植民地であったという歴史的背景から、現在、公用語や共通の言語として主に使われている言語を次の中から選びなさい。（2023年 石川公立入試 類似）

- |       |          |          |           |
|-------|----------|----------|-----------|
| 1. 英語 | 2. スペイン語 | 3. フランス語 | 4. ポルトガル語 |
|-------|----------|----------|-----------|

問7 日本が海外から輸入している農産物のうち、アメリカ合衆国からの輸入が約74%、ブラジルからの輸入が約25%を占めている品目はどれですか。主に家畜の飼料として利用されているものを選びなさい。（2021年 宮城県公立入試 類似）

- |           |       |       |      |
|-----------|-------|-------|------|
| 1. とうもろこし | 2. 小麦 | 3. 大豆 | 4. 米 |
|-----------|-------|-------|------|

問8 北アメリカなどの大都市では、都市の中心部ではなく郊外に大型のショッピングセンターが多く建設される傾向があります。このような立地が見られる主な理由として最も適切なものを、次の中から選びなさい。（2019年 佐賀公立入試 類似）

- |   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| 1. 都市の中心部に比べて地価が安く、駐車場や店舗のための広大な土地を確保しやすいため | 2. 都心部の地価が高いため、建物を高層化して土地を効率的に利用することが求められるため | 3. 郊外は公共交通機関が非常に発達しており、自動車を持たない層の集客が見込めるため | 4. 都市中心部における大規模な商業施設の建設が、法律によって全面的に禁止されているため |
|---|--|--|--|

## 答え合わせ・解説

- 問1** **答え 1**  
**中西部のイリノイ州付近を中心とした、肥沃な土壌を活かしたとうもろこし栽培**
- アメリカの農業は地域ごとに専門化が進んでいます。中西部のイリノイ州やアイオワ州付近は「コーンベルト」と呼ばれ、とうもろこしや大豆の世界的生産地です。北部のグレートプレーンズは半乾燥地域であり、大規模な機械化による小麦栽培（小麦地帯）が行われています。南部のミシシッピ川下流域は温暖な気候を利用した綿花の生産が歴史的に盛んですが、小麦の主要産地ではありません。五大湖周辺は冷涼な気候を活かした酪農が中心となります。
- 問2** **答え 1**  
**広大な面積と豊富な人口を背景に、世界最大の国内総生産（GDP）を維持しており、エネルギー資源である原油の産出量も非常に多い。**
- アメリカ合衆国は、世界最大の経済規模（GDP）を持つだけでなく、広大な国土から得られるエネルギー資源も豊富です。統計上、原油産出量が5億キロリットルを超えるなど、世界有数の産油国としての顔も併せ持っています。面積が世界1位なのはロシア、人口が世界1位なのは中国（またはインド）であり、アメリカはそれら全ての項目でバランスよく高い数値を示しているのが特徴です。
- 問3** **答え 1**  
**英語とフランス語の双方を公用語として認め、多文化主義を尊重している。**
- 北アメリカ大陸北部に位置するカナダは、イギリスとフランスという複数の国による植民地支配を受けた歴史を持っています。このため、特定の文化に同化させるのではなく、それぞれの文化的な背景を認め合う「多文化主義」を国の方針としています。選択肢にあるコーヒーのプランテーションは低緯度の熱帯地域、マオリはニュージーランド、パンパはアルゼンチンなどの南アメリカで見られる特徴であるため、カナダの説明としては不適切です。
- 問4** **答え 1**  
**移民の受け入れなどにより人口が増加傾向にあり、広大な国土と資源を背景に、巨大な国内消費市場と産業基盤を形成しているため。**
- アメリカ合衆国の強みは、約983万平方キロメートルという広大な国土面積と、先進国の中では珍しく増加傾向にある約3.3億人の人口規模が組み合わさっている点にあります。この人口規模が世界最大の国内消費市場（GDPの基盤）を生み出し、さらに広大な土地を活用した大規模農業や資源開発、先端技術産業の発展を支えています。他のG7諸国と比較しても、人口・面積・経済力のすべての要素が極めて高い水準でバランスを保っていることが、アメリカの国力の源泉となっています。
- 問5** **答え 1**  
**北アメリカ州**
- 大豆やとうもろこしの生産で世界的に高いシェアを持っているのは北アメリカ州（主にアメリカ合衆国）の特徴です。北アメリカ州では小麦の生産も盛んですが、大豆やとうもろこしほどの占有率ではありません。また、カカオ豆は低緯度の熱帯地域で栽培される作物であるため、温帯から冷帯が中心の北アメリカ州ではほとんど生産されません。
- 問6** **答え 1**  
**英語**
- 北アメリカの文化は、かつてこの地を支配していたヨーロッパ諸国の影響を強く受けています。アメリカ合衆国は、東海岸を中心にイギリスの植民地として発展した歴史があるため、現在も英語が共通の言語として使用されています。これに対し、カナダの一部ではフランス語、メキシコ以南のラテンアメリカでは主にスペイン語が使われています。
- 問7** **答え 1**  
**とうもろこし**
- 日本は畜産に必要な飼料の多くを海外に依存しており、特にとうもろこしはアメリカ合衆国からの輸入が圧倒的な割合を占めているのが特徴です。ブラジルも主要な輸入相手国の一つであり、これら2カ国で輸入全体のほとんどを賅っています。
- 問8** **答え 1**  
**都市の中心部に比べて地価が安く、駐車場や店舗のための広大な土地を確保しやすいため**
- 北アメリカなどモータリゼーション（自動車の普及）が進んだ地域では、買い物客が自動車で来店することを前提としています。都市の中心部は地価が高く、広い敷地や大規模な駐車場を確保することが困難ですが、郊外は中心部に比べて地価が安いので、広大な土地を利用した平屋建ての大型店舗や巨大な駐車場の設置が可能になります。このような土地利用の特性が、郊外への施設立地を促しています。